

地質ニュース

第497号 1996年1月

口 絵

活断層の起源を考える—大阪東北部交野断層と苦鉄質岩脈群—

……………貴治 康夫・木谷 幹一
地球深部の運動像をめぐる研究動向(その1)……………南雲昭三郎

巻頭エッセイ：研究成果の還元……………佐藤 壮郎・6

地球深部の運動像をめぐる研究動向(その1)……………南雲昭三郎・7

グリーンランド南西部の太古代広域変成作用—太古代の造山運動とは

……丸山 茂徳・林 衛・中村 保夫・小宮 剛・能田 成・18

大洋中央海嶺系の熱水噴気孔鉱床—深海熱水生態系に咲く徒花—

……………梶原 良道・34

海底堆積物中の金の地球化学的挙動……………寺島 滋・中尾 征三・46

光波測量による野島断層の1995年兵庫県南部地震後のアフタースリップの測定

……………佐藤 隆司・杉原 光彦・増田 幸治・51

地質調査所所蔵の隕石……………松江千佐世・55

第9回地質調査所研究講演会「地質年代測定法の進歩とその応用」を

終えて……………加藤 碩一・山崎 浩・66

編集後記……………68

表 紙

1995年10月の九重火山の噴火：1995年10月11日夕刻に大分県九重火山の星生山(写真右の山頂)の東の中腹にある通称硫黄山付近から火山灰が噴出し始めた。ほぼ東西方向の線上に並ぶ火口から出た噴煙は高度1,000 mに達し、降灰が熊本市まで確認された。写真中央に並ぶ火口列は上からb, c, d, e, 右下に離れた火口はa3(火口名は中田節也・渡辺一徳による)。硫黄山は約10,000年前に噴出した普通角閃石安山岩の溶岩からなる。左上の雲海を貫く山は雲仙普賢岳。10月18日9時15分に西を向いて撮影。

(写真と文：鎌田浩毅・星住英夫・川辺禎久)

通商産業省 地質調査所
工業技術院

〒305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3533

Geological Survey of Japan